

心の中に平和の灯を

主な内容：平和と人権について

20世紀には、世界を巻き込む二度の戦争が勃発し、世界の平和と人権に重大な影響を与えました。人類は、このような惨禍を教訓にして、世界の平和を維持するために国際連合を設置し、様々な取組を進めてきました。しかし、冷戦時の軍備拡張競争は平和に対する脅威を生み、冷戦終結後の急激なグローバル化の進展は、新たな紛争や貧困などの人権問題を生みつつあります。

人類の平和と共存に向けて、何が大切なのかを考えてみましょう。

●研究課題

(1) 「平和と人権」を守るための取組や活動について調べてみましょう。

【ポイント】

- ・「国連ミレニアム開発目標」(MDGs)など、国際連合の取組を調べてみましょう。
- ・「日本フェアトレード委員会」など、特定非営利活動法人(NPO)の活動内容を調べてみましょう。

(2) ノーベル平和賞の受賞者と受賞理由を調べてみましょう。

【ポイント】

- ・「グラミン銀行」や「国境なき医師団」などの受賞理由を調べてみましょう。
- ・自分たちの「平和賞」の選定基準を話し合ってみましょう。

●活動課題

(1) 海外青年協力隊などで活動している人や活動を支援している施設などを訪問してみましょう。

【ポイント】

- ・活動をしている人の思いや願いをインタビューしてみましょう。
- ・平和の実現に向けて、何が大切なのかを話し合ってみましょう。

(2) 「平和」をイメージする写真や資料を集めてみましょう。

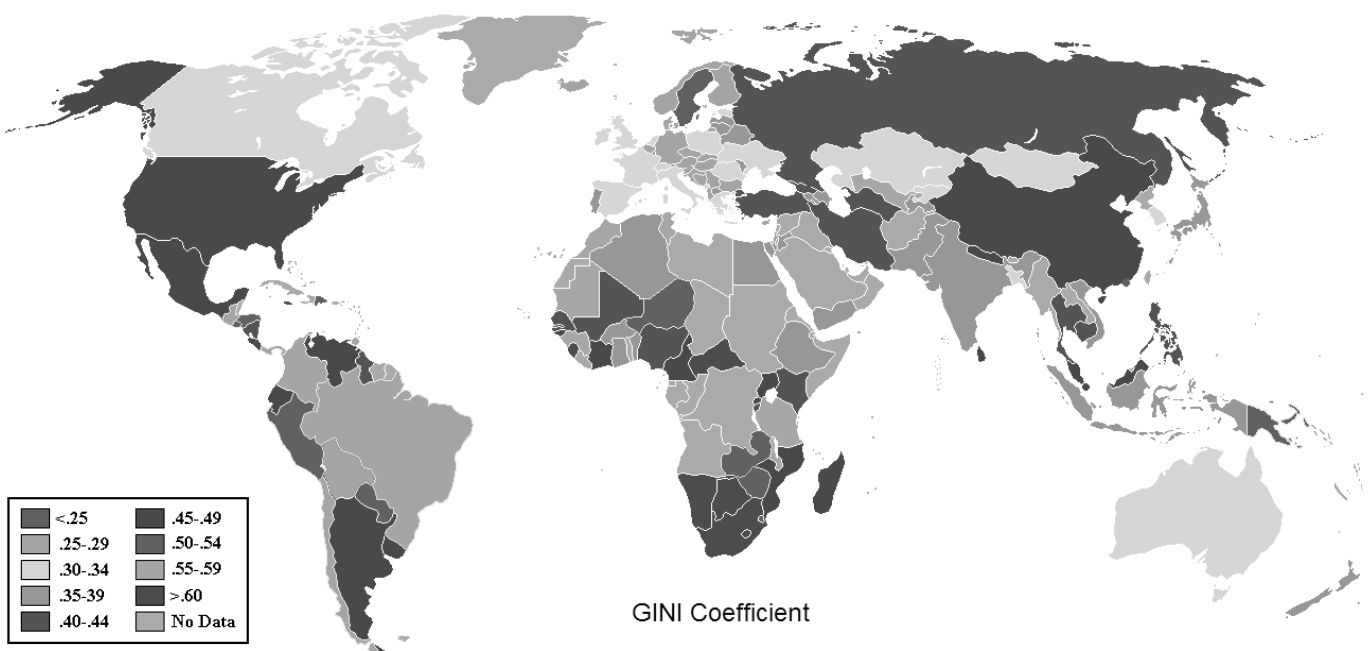
【ポイント】

- ・集めた資料をもとに、平和の実現に向けて、自分たちにできることは何かを話し合ってみましょう。
- ・自分たちの「平和宣言」を作成してみましょう。

●ケーススタディ

資料1 資料2 をもとに、難民問題の背景について話し合ってみましょう。

資料1 《 世界各国のジニ係数※ 》



※ジニ係数…社会における所得配分の不平等を測る指標。

(Source : CIA-The World Factbook 2009)

資料2 《 難民の出身国分布 》



●どんな気持ちでしょうか？



どんな気持ちでしょうか？

ちょっと想像してみてください。家族や友人に囲まれ、ずっと平和に暮らしてきたあなたの生活が、もし、突然すべて変わってしまったとしたら……

長年の隣人同士が、一夜にして憎みあうようになる。道路を戦車が走り回り、いつも乗っていたバスが燃えている。追撃砲を打ち込まれた家は見る陰もなく、教会の鐘の音もロケット弾の轟音にかき消されてしまう。

突然、見なれた人や物が消え、愛する人まで失ってしまった。たとえ、運よく生き残れたとしても、気がつくや異国の地で途方にくれて

いる。あなたは「難民」になったのです。

どんな気持ちでしょうか？「難民」といっても、あなたや私たちとなんの違いもありません。ただ、彼らは何もかも失っただけ。私たちの助

けを一刻も早く必要としているのです。

そこでみなさんにつだけ、お願いしたいと思います。もし、あなたが難民に出会ったら、ほんの少しの間、彼らの境遇を思いやって微笑みかけて下さい。知らん振りをしてはいけません。

ささいなことに見えるでしょうが、難民にとってはこのうえもない支えとなるのです。

UNHCRは人道機関として、その活動は、世界各国からの拠出金によって支えられています。そして現在、世界で約2000万人の人々に援助の手を差し伸べています。



UNHCR

このシンボルを支えるのはあなたです

国連難民高等弁務官事務所

(国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR))

キーワード解説

▼ 難民

「難民の地位に関する条約」では、戦争や政治的・宗教的迫害から逃れるために、自らの意志とは無関係なところから生じる危険によって、住んでいた土地を離れざるを得なかった者などと定義している。日本では、このような「条約難民」のほか、インドシナ難民などを受け入れている。

▼ 人間の安全保障

国連開発計画 (UNDP) の平成6 (1994) 年度版「人間開発報告」で初めて公に取り上げられた概念で、安全保障の焦点を国家から人々の安全保障へ拡大した。すなわち、貧困・紛争・地雷・難民問題・麻薬・感染症・環境破壊・自然災害など人間に対する様々な脅威を背景に、人間の生存、生活、尊厳に対する脅威から各個人を守り、それぞれのもつ豊かな可能性を実現するために、一人一人の視点を重視する取組を強化しようという考え方であり、「人間の安全保障委員会最終報告書要旨」[平成15 (2003) 年]においては、人権の尊重は人間の安全保障の核心を形成すると明記されている。

▼ 識字

識字とは、日常生活の簡単な内容についての読み書きができることをいう。識字率とは、15歳以上人口に対する識字人口の割合である。近年は、少数民族・先住民族やリプロダクティブ・ヘルス (性と生殖に関する健康) と関連付けた視点から言及されることもある。識字に関する世界の潮流は以下のとおりである。

①万人のための教育 (EFA)

各国が協力しながら、国連ミレニアム開発目標 (MDGs) に基づき、平成27 (2015) 年までに世界中のすべての人たちが初等教育を受けられる、字が読めるようになる (識字) 環境を整備しようとする取組である。非識字者の約7割はアジア・太平洋地域に存在し、3分の2は女性だと言われている。

②ダカール行動の枠組み

平成27 (2015) 年までに、成人 (特に女性の) 識字レベルが50%の改善を達成することを行動目標のひとつに掲げている。

③国連識字の10年

国際連合総会で議決された宣言で、平成15 (2003) 年からの10年間ですべての人に識字能力を与えることを宣言している。

▼ 日本国憲法 前文 (抜粋)

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

●関係機関等

- (1) 国連開発計画 (UNDP) 東京事務所
- (2) 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)
- (3) 日本ユニセフ協会
- (4) 外務省
- (5) 特定非営利活動法人 日本フェアトレード委員会

- <http://www.undp.or.jp/>
- <http://www.unhcr.or.jp/html/index.html>
- <http://www.unicef.or.jp/>
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- <http://www.fairtrade-japan.org/>